

ブロック：日本海

1. ウスメバル・日本海（青森～兵庫）

海域	日本海（青森～兵庫）	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター
----	------------	------	---

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報の収集、各県漁獲情報の集約を実施。また、日本海北部において標本船調査（体制構築含む）を実施。
- ・各県は漁獲統計の収集を実施。

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した。
- ・青森県では県内全域の2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・秋田県では2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・山形県では2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・新潟県では2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・富山県では2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・石川県では主要10港の2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・福井県では2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2016～2019年は精査中。
 - ・京都府では2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・兵庫県では2020年の月別漁法別漁獲量を収集済み。
 - ・水産資源研では各府県の漁獲量を集約した。また、日本海北部における標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに開始。

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書を参照
- (2) 年齢・成長：令和2年度評価報告書を参照
- (3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照
- (4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照

(4) 備考

- ・日本海北部による標本船調査でのデータ蓄積がさらに必要。